

はな
ぶっきょうつうしん 「花まつり、善哉（よきかな）」 4月号 がつ

はなばな さ ほこ がつ ぶっきょう しゃか たんじょう いわ はな かんぶつえ むか しがつよおか はな
花々が咲き誇る4月、仏教ではお釈迦さまの誕生をお祝いする「花まつり（灌仏会）」を迎えます。4月8日の「花まつり」は、お
しゃか よ せい う よろこ わ あ ぎょうじ でんせつ しゃか たんじょう さい てん きゅうひき りゅう あらわ
釈迦さまがこの世に生を受けられた喜びを分かち合う行事です。伝説によれば、お釈迦さまが誕生された際、天から九匹の龍が現
しゆくふく あま あめ かんろ ふ い つた もと わたし はなばな かざ はなみどう あんち たんじょうふつ
れ、祝福の甘い雨（甘露）を降らせたといひます。この言い伝えに基づき、私たちは花々で飾られた「花御堂」に安置された誕生仏
あか あまちゃ いわ かんろ あめ たん しゃか たんじょう いわ い い
（赤ちゃんブツダ）へ、甘茶をかけてお祝いします。この甘露の雨は、単にお釈迦さまの誕生をお祝いするだけでなく、生きとし生
けるものの誕生を、うちゅうぜんたい いつくし すがた わたし だれ おお しゆくふく なか う
けるものの誕生を、宇宙全体が「おめでとう」と慈しんでいる姿なのです。私たちは誰もが、大きな祝福の中に生まれてきた
あ がた あ むずか そんざい
「有り難い（有ることが難しい）」存在なのです。

しんねんど はじ きたい きたい ふあん みな つた ことば ぶっきょう
新年度の始まりは、期待とともに「うまくやっていたらどうか」という不安もつきものです。そんな皆さんに伝えたい言葉が、仏教
きょうてん とうじょう しゃか み まわ せわ にじゅうごねんかんつづ たもんだいいち おし おお き
の経典に登場する「善哉（ぜんざい）」です。お釈迦さまの身の回りのお世話を二十五年間続け、多聞第一（もっとも教を多く聞
でし しょう あなん でし かれ とき ひとびと すく ふか なや しゃか しんけん まなざ
た弟子）と称された阿難という弟子がいますが、彼はある時、人々の救いについて深く悩んでおり、お釈迦さまに真剣な眼差しでお
たず とき しゃか あなん ふか いつくし まなざ み よいかな よいかな あなん なんじ おお ひと
尋ねました。その時、お釈迦さまは阿難を深い慈しみの眼差しで見つめ、こうおっしゃいました。「善哉、善哉。阿難、汝は多くの人
すく ねが も じつ き ご ごげん ことば
を救いたいという願いを持って、実によくぞ聞いてくれた」と。サンスクリット語の“sādhu（サードゥ）”を語源とするこの言葉には、「そ
とお じつ みごと あいて まる こうてい あたは ひび しゃか あなん たしや なや まな
の通りだ」「実に見事だ」という、相手を丸ごと肯定する温かな響きがあります。お釈迦さまは、阿難が他者のために悩みながらも学び
つづ いっぽふ だ しせい さいだいげん ことば しょうさん
続け、一歩踏み出そうとする「姿勢」そのものを、最大限の言葉で称賛されたのです。

わたし した かんみ じつ しょうさん ことば ゆらい いっきゅう ゆうめい いっきゅうそうじゅんぜんじ
私たちが親しんでいる甘味の「ぜんざい」も、実はこの称賛の言葉に由来しています。「一休さん」として有名な一休宗純禅師
てら あま あずきじる ぶ ま さい おい ぜんざい このしる さけ
が、お寺で甘い小豆汁を振る舞われた際、そのあまりの美味しさに「善哉！此汁！（よきかな！このしる!）」と叫んだというエピソード
ゆうめい おい くち とき すなお かんどう ことば あたら かんきょう ゆうき だ はっ ことば ひとし つ かさ
は有名です。美味しいものを口にした時の素直な感動の言葉も、新しい環境で勇気を出して発した言葉も、あるいは人知れず積み重
どりよく ぶっきょうてき み ぜんざい すば
ねた努力も、仏教的に見ればすべてが「善哉（素晴らしいこと）」になるのです。

あたら かんきょう とまど しつぱい けいけん あなん まよ
新しい環境では、戸惑いや失敗を経験することもあるでしょう。しかし、阿難が迷いながらも
どりよく と つづ いっしょうけんめい いま とき い すがた とうと
努力をして問い続けたように、一生懸命に今この時を生きようとするその姿は、それだけで尊
うつく おも はな おし いのち ほんらい しゆくふく み
く、美しいものだと思います。「花まつり」が教えるように、すべての命は本来、祝福に満ちて
こた み と なや げんじょう か ちい いっぽふ だ とき ころろ
います。答えの見えない問いに悩みながらも、現状を変えようと小さな一歩を踏み出した時、心
なか じぶんじしん ぜんざい すば ことば
の中で自分自身に「善哉（よくやった、素晴らしい）」という言葉をおくってみてはいかがでしょうか。
はじ いちねん やさ おお ぜんざい み ひび ころろ ねん
これから始まるこの一年が、優しさとおおの「善哉」に満ちあふれる日々となることを心より念
がっしょう
じております。合掌



はな がつ にち しょうとくたいしほうさんえ がつ にち
花まつりは4月11日（土）、聖徳太子奉讃会は4月20日（月）におこないます。

しょうがくぶらいはいいいんかい
小学部礼拝委員会